

スウェーデン・デモクラシーの基幹理念：誰をも特別扱いしない

《論点・分析視点》

「女性の意思決定過程への参加を阻止している、そして、阻止してきた要因・ハードルは何か」

「なぜ、いま、女性の参加なのか」

「女性の意思決定過程への参加は社会や政治をどう変えたか、また、どう変えるのか」

「女性にとって意思決定ポストの獲得・維持は魅力的なビジネスか」

「どうして、参加阻止ハードルを突破するか」

選挙デモクラシーの権力資源



スウェーデン女性に何が欠けていたか



[01]－[11]のほとんどの権力資源を僅かしか持たない

専門知識・専門技術

知名度

権威・尊敬

⇨社会経験を通じて獲得・蓄積できる



労働参加を通じた社会参加



短い労働時間

残業原則なし

長い有給休暇と完全消化

⇨社会経験を通じて矛盾・問題点を認識⇨特に、間接税が着火



《参加のデモクラシー台頭》60年代

選挙デモクラシーでは最終的に意思決定過程への参加が必要

この点での合意形成が終われば突破は簡単

多くの選挙デモクラシーでは困難

[ハードル 1]女性の選択ミス

[ハードル 2]社会的偏見または女性の成功恐怖症

- [ハードル 3] 伝統的な価値観の支配力：「男は仕事 女は家庭」
- [ハードル 4] 女性の連帯感の欠如
- [ハードル 5] 選挙制度のハードル：体力消耗戦
- [ハードル 6] 男性の既得権死守指向：男は男を後継者に選びたがる
- [ハードル 7] 仕事・家事・育児と両立できる環境の欠如：
 - 「政治は特別な社会」
- [ハードル 8] [政界=男性支配社会]の伝統：女性参政権は遅れた・
 - 参入した頃には既に男性職場として確立されていた
- [ハードル 9] 学校教育における政治教育の制限
- [ハードル 10] 女性リーダー育成環境の未整備
- [ハードル 11] 新規参入者のための特別措置の欠如：クォータ制度
 - をどう考えるか

スウェーデン：なぜアドヴァンテージがあったのか

- [advantage Sverige 1] 議会政治の長い伝統：イギリスについて古い伝統
 - アルボーガ・メーテ 1435年
 - 女性参政権は他の北欧諸国より遅れた 1919年
 - デモクラシー教育・経験の長い伝統
- [advantage Sverige 2] 議会制デモクラシー：議会政治を活用した社会改革
 - スタートは遅いが、到達が早く・高い
 - 1884年 フレデリカ・プレーメル協会結成
 - 1921年 第一号女性議員誕生
 - 1947年 第一号女性大臣誕生
 - 60年代の「参加の革命」「参加デモクラシー論」がハネ
 - フレデリカ・プレーメルは重要資源としての議会制民主主義に着目
 - 男も優れている制度と認めている制度を活用できる
 - 平均寿命が長い分だけ女性有利の可能性あり
 - ：⇨最大のアファマティヴ・アクション⇨男女間連帯の構築

◎[advantage Sverige 3] 高負担・高福祉政策⇨無関心でいられない：特に間接税

◎[advantage Sverige 4] 比例代表制：男女混合名簿・女男交互名簿
⇨投票用紙に工夫してインフォーマルなアファマティヴ・アクション

[advantage Sverige 5] インフォーマルなクォータ制度⇨制度のディレンマ
自由競争の理念に反する⇨保守政党
事前に上限を設定してしまうことになる

議員間格差を作らないか⇔過渡的な手法として選択可能：社民党

◎[advantage Sverige 6]女性の平均寿命が長い⇔超党派で女性問題に取り組んだら競合的協同が可能⇔議会政治では最大の資源

⇔総人口でも有権者人口でも女性が過半数⇔あとは連帯感の構築

⇔女性が女性の敵にならない

長生きすること⇔最重要のアファマティヴ・アクション

◎[advantage Sverige 7]政治：原則ペイしない：無報酬制度

→政治ビジネスとしてペイしない

これに徹底的な情報公開が結びつくと⇔「親子二代で死守すべき程のポストではない」⇔政治はペイしない

→既得権死守意識希薄→男退出

◎[advantage Sverige 8]徹底的な情報公開：秘密主義の旨味なし

選挙公職保有者のスキャンダルや汚職には途方もなく厳しい

議員特権も小さい

→政界業としての魅力なし

[advantage Sverige 9]市民生活と議会政治の距離を縮小→「特別なことではない」

日常生活の論理で政治の世界の論理が理解できる

重要ポストの政治家も出産・育児休暇

子どもといる時間を増やすために副首相を辞任、政界引退した例

また、議会開会場所・時間の柔軟性

例：仕事が終わったあと夕方、学校の体育館で

◎[advantage Sverige 10] 参加促進型の選挙制度

例：18歳選挙権

例：18歳被選挙権

例：在外選挙権

例：在住外国人の地方選挙権・被選挙権

例：郵便等投票制度：全国の郵便局が投票場

例：投票期間の長期設定

◎[advantage Sverige 11]女性環境の整備：家庭参加・職場参加・社会参加を無理なく、つまり男性と同じように、こなせる環境の整備

出産：育児・家事・労働と政治活動が両立する環境の整備

：最重要のアファマティヴ・アクション◎

◎[advantage Sverige 12]初等教育での参加教育

→クラス経営で違和感なくリーダーシップ学習

早期の社会教育とOJT型政治教育

旺盛な《自立》精神→政治は自分のもの

早い家離れ・早い親離れ・早い子離れ・早い妻離れ・早い夫離れ

→自己選択・自己決定・自己投資・自己責任の社会

→自分の意見を持つことを刺激・奨励

→小学生は選挙小屋を訪問し候補者に質問

[advantage Sverige 13]国際世論の活用：次的資源：他国の動き

フィンランドには女性大統領・女性首相が

アイスランドにも女性大統領が

ノルウェーには女性首相が

デンマークには女王が

スウェーデンは女性選挙権でも被選挙権でも早くなかった

スウェーデンはクォータ制度を一律に導入していない

だが、政治的意思決定過程での女性占有率だけはどこにも
負けたくない

権力資源

[01]合法的権威

[02]ポスト・官職（党内ポスト・議会内ポスト・政府内ポスト）

[03]威信・信頼感・人気・知名度・ブランド力

[04]富・その他の経済力

[05]ヒューマン・リソース：分野別スペシャリスト：選挙参謀・政策助言者・演説作成者

[06]数

[07]組織・団結力・連帯感

[08]情報・知識

[09]技術・専門的技能

[10]物理的力・体力

[11]時間・関心・執念

[結論] 時間と情報

スウェーデンの学者と議論するときの結論：日本のデモクラシーに何がかけているか

⇔時間と情報

「忙しい」ことを社会問題への関心の薄さを自己弁明手段に利用しているだけ

「忙しい」から「自分が国民年金を払ったかどうかもしらない」では

デモクラシーは成熟しない

労働時間の短縮・残業辞退・年休完全消化で自分の社会と自分の時間を

考える時間を持つて

そのときに活用できる情報が少ない

参考資料 スウェーデン・デモクラシーの実験室
女性環境
女性の社会参加を促進した理由
税制

作成：5/16/2004

デモクラシーの実験室：スウェーデン

N Okazawa Waseda:Tokyo JP

- 【実験 01】 選挙権年齢の 18 歳への引下げ
- 【実験 02】 被選挙権年齢の 18 歳への引下げ
- 【実験 03】 在外スウェーデン人への選挙権付与
- 【実験 04】 郵便投票制度
- 【実験 05】 投票期間の長期設定
- 【実験 06】 在住外国人への地方選挙権・被選挙権付与
- 【実験 07】 公平度の高い選挙制度：単純明快な選挙区議席配分方式
- 【実験 08】 公平度の高い選挙制度：比例代表選挙・修正奇数式当選者確定法
- 【実験 09】 公平度の高い選挙制度：調整議席制による二重の比例代表制度
- 【実験 10】 名簿式比例代表制度下の候補者選択制度（個人選択）
- 【実験 11】 二重の政治保険：4%条項と 12%条項⇔政党破片化の阻止と少数意見の代表
- 【実験 12】 代理投票制度の簡素化
- 【実験 13】 わかりやすい投票用紙
- 【実験 14】 二院制から一院制への切替
- 【実験 15】 議員定数の削減
- 【実験 16】 議員歳費の抑制
- 【実験 17】 選挙区別議席配分
- 【実験 18】 議長会中心の議会運営
- 【実験 19】 議員代行人制度
- 【実験 20】 議員提出法案の噴出：少数意見の登録
- 【実験 21】 議会オンブズマン
- 【実験 22】 徹底した市民サービス：議会の情報提供活動
- 【実験 23】 レミス制度：意見調整・合意形成技法
- 【実験 24】 機能主義的な票決方式：ボタン方式
- 【実験 25】 『政界=男性支配社会』への挑戦：国会議員の 43%が女性
- 【実験 26】 『政界=高齢者支配社会』への挑戦：早い政界引退
- 【実験 27】 レファレンダム制度：代議政治の補完装置
- 【実験 28】 機能的な首班指名：政治的空白の回避
- 【実験 29】 機能的な政府構成
- 【実験 30】 超・行政国家の小さい政府：首相府
- 【実験 31】 新聞への公庫補助：デモクラシーの必要経費と世論形成
- 【実験 32】 プレスオンブズマン制度：報道倫理の確立とプライバシーの保護
- 【実験 33】 新聞記事記者実名制度と E-mail アドレス明示：責任報道の確立
- 【実験 34】 徹底的な情報公開制度
- 【実験 35】 政党への公庫補助
- 【実験 36】 共同決定法 MBL
- 【実験 37】 労働者基金：⇔その後廃止
- 【実験 38】 在住外国人組織への公庫補助制度
- 【実験 39】 青年運動への公庫補助制度
- 【実験 40】 民族差別オンブズマン
- 【実験 41】 公正取引オンブズマン

- 【実験 42】 男女機会均等オンブズマン制度
- 【実験 43】 児童虐待オンブズマン
- 【実験 44】 消費者オンブズマン
- 【実験 45】 学生ローン制度
- 【実験 46】 労働経験大学入学制度
- 【実験 47】 教育休暇制度
- 【実験 48】 学習サークル制度：生涯学習環境の整備
- 【実験 49】 成績評価のない学校：初等教育低学年
- 【実験 50】 同棲法：⇨婚外子の社会的容認
- 【実験 51】 親保険制度
- 【実験 52】 妊娠中の部署移動申告制度
- 【実験 53】 出産・育児休暇：所得補償 80-85%
- 【実験 54】 妊娠中および幼児を持つ親の労働時間選択制度
- 【実験 55】 出産・中絶自己決定権
- 【実験 56】 児童看護休暇制度
- 【実験 57】 結婚後の姓の継続・選択制度
- 【実験 58】 同性間結婚
- 【実験 59】 グループ住宅重視への転換
- 【実験 60】 補助器具・介助器具の普及
- 【実験 61】 リハビリテーション施設・ハビリテーション施設の充実
- 【実験 62】 短い労働時間と長い有給休暇（完全消化）
- 【実験 63】 労働者雇用安定法
- 【実験 64】 190 年間の不戦の伝統
- 【実験 65】 国民背番号制（パーソナルナンバー制度）
- 【実験 66】 脳死による死亡判定
- 【実験 67】 私用地への公的アクセス権：土地・自然の自由享有権
- 【実験 68】 国連平和維持軍
- 【実験 69】 バリアフリーの都市計画
- 【実験 70】 王位継承法の改正⇨性に関係なく第一子が継承順位一位
- 【実験 71】 原発廃棄決議
- 【実験 72】 フリーコミュニケーション実験
- 【実験 73】 首都機能の一部地方移転

Waseda TYO:JP